西久保八幡通信

謹賀新年

明けましておめでとうございます。当八幡神社につきましては日頃より種々ご高配を賜り誠にありがとうございます。

令和の御大礼を奉祝し執り進めております御造替事業につきまして、令和元年十一月十九日、御神霊を仮殿にお遷しし御造替工事が本格的に開始され、およそ二年を要し社殿・社務所および参集殿の工事が完了し、令和三年十月二十九日に本殿遷座祭を斎行し、新殿に御神霊にお鎮まりいただきました。その後稲荷社・人麿社・祖霊社の御造営および境内整備工事を行ってまいりましたが、庚申社の御造営等一部を残し完了し、昨年八月十一日竣功奉告祭を執り行い、引き続き同十五日には新社殿におきまして初めて大祭式を斎行いたしました。

御造替工事開始当初より新型コロナウイルス発生の報を耳にしておりましたが、我々の生活を一変させるような事態となるとはいささかも感じておりませんでした。未だ完全収束に至る状況ではございませんが、この三年以上に及ぶ御造替事業に支障はなく、滞りなく竣功できましたことは偏に氏子崇敬者の皆様のご理解とご協力、また工事関係者の皆様のご尽力によることと衷心より御礼を申し上げる次第です。

竣功奉祝祭にご奉仕いただいた神職の皆様

今後はより一層の御神徳の発揚に努めてまいりたく存じますので、多くの皆様の心の拠り所として清しくご参拝いただければ幸いに存じます。

さて、令和五年の干支は『癸卯（みずのとう）』となります。『癸（みずのと）』は雨や露、霧など大地を潤す恵みの水を表すとともに物事の終わりと始まりを意味しています。そして『卯（う）』は門を無理に押し開けて中に入り込むさまを表し、植物が成長し地面を覆うようになった状態を意味しています。したがって、『癸卯』はこれまでの努力が花開き、実り始めるという縁起の良いさまを表しているといえます。また卯（うさぎ）は跳躍する姿から、「飛躍」や「向上」を想起させ、その穏やかで温厚な性質から、「家内安全」の象徴とされています。

令和五癸卯年には人々が様々な不安から解き放たれ、平和で豊かな実りある一年となりますことを願う次第です。

疫病の蔓延や世界中の無益な争いが一日も早く終息し、かつての平穏な日常が訪れますこと、また氏子崇敬者の皆様のますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

大祭式

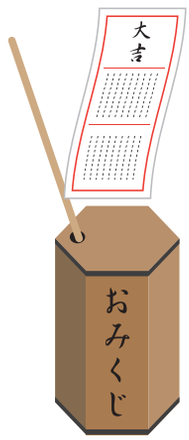
盆踊り（令和4年8月11日）

破魔矢について

破魔矢の起源はその年の作物の豊凶を占うために行われてきた弓射であると言われます。江戸時代以降は子供の成長の無事を祈る縁起物として装飾を施した弓と矢が男児の初正月や初節句に送られました。現在では破魔矢は魔を破り、災厄を祓う縁起物としてお正月に社頭で頒布されています。神棚や床の間など清浄な場所に飾りましょう。

おみくじについて

一般的におみくじは個人の運勢や吉凶を占うために用いられますが、神社によって様々な種類があります。そもそも占いとは、物事の初めに当たって先ずは御神慮を仰ぎ、それに基づいて物事を懸命に遂行しようとする信仰の表れと言えます。つまりおみくじは単に吉凶判断を目的として引くのではなく、その内容を今後の生活指針としていくことが大切です。



厄年について

厄年は人の一生の中でも様々な災難にあいやすい年齢と言われています。現在は負の側面が強いですが、本来厄年は、晴の年齢と考えられてきました。厄年になるということは、地域社会において一定の地位を得ることを示し、宮座への加入や神輿担ぎを行うなど、神事に多く関わるようになります。このため心身を正常に保ち、言動を慎む行動をする必要があったわけです。数え年では、新年を迎える正月に年を取るので正月に厄祓いを受けることが多いです。厄年の年齢になりましたら厄祓いや厄除けの御祈願を受けましょう。

数え年は、元日から誕生日の前日までは「満年齢＋2才」、それ以降は「満年齢＋1才」で計算します。

令和５年の厄年

	前厄	本厄	後厄
男性	24才（辰）平成12年生	25才（卯）平成11年生	26才（寅）平成10年生
男性	41才（亥）昭和58年生	42才（戌）昭和57年生	43才（酉）昭和56年生
男性	60才（辰）昭和39年生	61才（卯）昭和38年生	62才（寅）昭和37年生
女性	18才（戌）平成18年生	19才（酉）平成17年生	20才（申）平成16年生
女性	32才（申）平成4年生	33才（未）平成3年生	34才（午）平成2年生
女性	36才（辰）昭和63年生	37才（卯）昭和62年生	38才（寅）昭和61年生

※年齢は数え年です

人日の節供

日本には一年を通して多くの節供（せっく）がありますが、年が明けて最初の節供は、人日（じんじつ）の節供（一月七日）といい、七種（ななくさ）の節供、ナナクサとも呼びます。七種類の野菜をお粥にした七草粥を食べて、一年間の無病息災を願う日本の伝統的な風習です。この風習は、中国から伝わりましたが、日本にも、正月初めての子の日に若菜を摘む野遊びの風習がありました。それらが交わり、平安時代には七草粥を食べていたとされます。地方によって組み合わせは様々ですが代表的な春の七草は、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロです。

忌中のお正月

家庭にご不幸があった場合、一般的には五十日を忌中として故人を偲び、お祭りを遠慮しますが、忌が明ければ、通常の生活に戻ります。忌の期間が正月をまたぐ場合は忌が明けてからお神札を受けましょう。なお、親族の方がなくなられた場合は、お葬式を出したお家でなければ、通常のおまつりをしても問題はないでしょう。

卯年の出来事、卯年生まれの有名人

平成二十三年（二〇一一）

東日本大震災発災
ユッケ集団食中毒事件
小笠原諸島が世界自然遺産に登録
平泉の歴史的建造物群が世界文化遺産に登録
民主党野田佳彦内閣発足
歴史的円高、一時一ドル七十五円三十二銭
稀勢の里寛が大関に昇進

平成十一年（一九九九）

携帯電話番号十一桁化
日産自動車、仏ルノーと資本提携
武蔵丸光洋が第六十七代横綱に昇進
男女共同参画社会基本法成立
ノストラダムスの予言と世紀末ブーム
国旗国歌法成立
アイドルグループ嵐がデビュー
マカオ、ポルトガルから中国へ返還
パナマ運河、アメリカからパナマへ返還
ミレニアムのカウントダウン世界各地で開催
【誕生】堀米雄斗、永瀬廉、橋本環奈

昭和六十二年（一九八七）

ＮＴＴが携帯電話サービス開始
ゴッホの「ひまわり」が五十三億円で落札
国鉄が分割、民営化されＪＲ七社発足
有明コロシアム完成
釧路湿原が国立公園に指定
おニャン子クラブ解散
巨人江川卓、現役引退
日本航空完全民営化
【誕生】市原隼人、香椎由宇、松下洸平、織田信成、長澤まさみ、セイキン、三浦大知、絢香、倉科カナ

昭和五十年（一九七五）

ザ・ピーナッツ引退表明
マイクロソフト設立
サイゴン陥落によりベトナム戦争終結
集団就職列車、運行終了
英ロックバンド、クイーン初来日
佐藤栄作元首相死去
三木首相、終戦記念日に靖国神社参拝
昭和天皇、アメリカを公式訪問
【誕生】相川七瀬、吉瀬美智子、船木和喜、アレックス・ロドリゲス、米倉涼子、伊藤英明、さかなクン、谷亮子、四代目市川猿之助

昭和三十八年（一九六三）

国産アニメ第一号「鉄腕アトム」放送開始
大河ドラマ放送開始
エディット・ピアフ死去
伊藤博文肖像の新千円札発行
ケネディ大統領暗殺事件
力道山死去
新種米ササニシキ開発
【誕生】河野太郎、川合俊一、マイケル・ジョーダン

昭和二十六年（一九五一）

第一回ＮＨＫ紅白歌合戦放送
マッカーサー、ＧＨＱ最高指令官を解任
力道山プロレスデビュー
日本青年会議所設立
旧日米安保条約締結
貞明皇后崩御
日本航空設立
【誕生】沢松和子、もんたよしのり、中村雅俊、あだち充、大田卓司、竹中平蔵、ジャンボ鶴田、忌野清志郎、浅茅陽子、三宅裕司、モト冬樹、藤圭子、山下真司

昭和十四年（一九三九）

第一次近衛内閣総辞職
横綱双葉山の連勝が六十九でストップ
全国の招魂社を護国神社に改称
ノモンハン事件
第二次世界大戦勃発
【誕生】ちばてつや、かまやつひろし、佐久間良子、高田賢三、水島新司、菊池武夫、コシノジュンコ、加藤みどり

昭和二年（一九二七）

大正天皇大喪
片岡蔵相失言、昭和金融恐慌の発端
岩波文庫創刊
芥川龍之介自殺
火災専用電話番号が一一二から一一九に
東京六大学野球中継開始
早稲田大学大隈講堂竣功
日本初の地下鉄が開通（上野～浅草）
【誕生】堤清二、ジャック・マイヨール、綿貫民輔、ロジャー・ムーア

大正四年（一九一五）

第一次世界大戦、独が英本土を空爆
米国がハイチを占領
第一回全国中等学校優勝野球大会開幕
三毛別羆事件
済生会芝病院開設
【誕生】二葉あき子、市川崑、三笠宮崇仁親王、フランク・シナトラ、エディット・ピアフ

明治三十六年（一九〇三）

中央本線笹子トンネル開通
日比谷公園開園
第一回大会ツール・ド・フランス開催
ライト兄弟、人類初の動力飛行に成功
【誕生】香淳皇后、金子みすゞ、サトウハチロー、アラム・ハチャトゥリアン、棟方志功

明治二十四年（一八九一）

エジソン、キネトスコープ発明
大津事件
日本鉄道、上野～青森開通
スタンフォード大学創立
【誕生】栗林忠道、近衛文麿

明治十二年（一八七九）

蓬莱橋（静岡県島田市大井川）竣功
琉球藩廃止、沖縄県設置
東京招魂社が靖國神社に改称
エジソン、白熱電球を発明
【誕生】アルベルト・アインシュタイン、滝廉太郎、大正天皇、永井荷風

慶応二・三年（一八六七）

徳川慶喜、第十五代征夷大将軍に就任
孝明天皇崩御
明治天皇即位
徳川昭武、渋沢栄一らパリ万博視察
米国、露帝国よりアラスカ購入
坂本龍馬、中岡慎太郎暗殺
【誕生】夏目漱石、豊田佐吉、サイ・ヤング、フランク・ロイド・ライト、幸田露伴、正岡子規、マリ・キュリー、伊東忠太

西久保八幡通信　発行日　令和五年一月一日
発行者　八幡神社　東京都港区虎ノ門五丁目十番十四号　http://www.hachimanjinja.or.jp